

令和5年度第三者評価 改善状況報告書

令和6年5月30日

施設名	神明保育園	施設所管課	芝地区総合支所管理課
所在地	浜松町 1-6-7 プラザ神明1~3階	指定管理者	株式会社日本保育サービス

改善すべき指摘内容等	対応事業者 (共同事業者の場合記入)	令和6年3月までの改善状況等 (指定管理者記入欄)	令和6年4月以降の取組予定 (指定管理者記入欄)	所管課確認欄 (施設所管課記入欄)
園では今年度、社会的関心の高まりを背景に、不適切な保育防止を重要課題と設定して力を入れているため、従来おこなっていた職員への理念浸透の取り組みが簡易化されています。他にも働き方改革による業務負担削減や労働時間の減少、コロナ禍での働き方の変化などの要因により理念の浸透にかけられる時間が減少しています。計画作成時や、話し合いの中で理念を確認しながら共有する取り組みをおこなっていますが、理念や目標そのものへの理解を深めるための時間や方法を検討し、園全体で方向性を合わせることに伴った質の向上への取り組みに期待します。		業務改善として残業申請を事前申請にて対応し、可能な限り日中で行えるようにした。結果調整対応を行うことで残業時間が偏りすぎることなく業務負担の軽減と繋がった。不適切保育防止のために、人権に関する研修を多く取り入れた。職員には人権チェックリストを行ってもらい、改めて自分の保育について見直してもらう機会を増やした。また、職員が自ら外部の人権研修を受けて、その内容を職員におろし、人権とはなにかを認識してもらう研修を行った。	新しい職員も増え、再度職員へ浸透させるため保育理念や保育目標などを踏まえた園内研修で取り入れていく予定。また、不適切保育防止のために定期的に子どもの人権について意識できるよう研修または声かけなどの取組を行っていく。	園には保育理念、園目標等を職員に共有するための様々な仕組みがあり、事業者が目指す保育の実現に向けて一丸となって取り組んでいく体制があります。令和5年度は不適切保育防止のための人権に関する研修を多く取り入れましたが、引き続きそちらも実施しつつ、保育理念や園の目標そのものへの理解を深めるような保育園としての質の向上に向けた取り組みを区としても支援していきたい。
園では、親子の交流の場として保護者参加ができる行事を計画し実施しています。夕涼み会では、夕涼みの雰囲気親子で楽しみ保護者と子どもたちの思い出作りをしています。また、コロナ禍前には保護者支援の一環として乳児クラスを対象にベビーマッサージをおこなっていました。今後は、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に移行したことを受け、再び保護者支援の活動を充実させる取り組みをおこないつつ、親子で交流する機会を増やすことを検討し保護者参加行事のさらなる充実を期待します。		コロナ禍を経て、行事への参加人数の制限もなくなり地域交流や保護者同士の関わりなどが多く見られた。可能な限り子どもたちの成長を感じていただけるような機会を増やすことができた。地域交流は特に力を入れ、園行事に参加してもらったり、招待していただいたりしながら地域に根づく保育園づくりを積極的に行った。保護者に参加してもらう行事は幼児クラスが多く、乳児クラスは少ないという意見も上がったため、保護者に安心して保育園を利用してもらう為にも乳児クラスの行事を少しずつ増やしていきたい。	年二回の個人面談に加え、懇談会、各保護者参加の行事などは参加者の人数制限を極力せず、父・母共に参加できる機会をつくっていく。また今年度は運動会が今まで幼児(3~5歳児クラス)までだったところ2歳児クラスも参加にしたり、ハロウィンで交流する地域施設を増やしたりしながら親子や地域との交流を更に深めていく。	令和5年度は夕涼み会、運動会、また新たに日本文化の継承を目的として「お茶会」を実施しました。新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に移行したことを受け、今後とも保護者とともに子どもたちの成長を共有し、保育園の取り組みについて知っていただく機会を増やしていくことを期待したい。
園では、保育の質を向上させるため保育室の環境の見直しを定期的に図り、そのときの子どもたちの成長や発達に即した遊びの環境となるように努めています。また、副園長2名が必要に応じて各クラスの補助に入り、状況の把握と支援をおこない、子どもたちが安心して過ごせる環境を整備しています。今後は、遊びの環境の充実とともに、職員自らが発信して「やりたい保育」をどのように実現していくのか職員会議などで情報を共有し、園全体でサポートしながら、その実現に向けた組織的な取り組みに期待します。		今年度は職員の入れ替わりが多く、職員も環境に慣れることに精一杯な様子であった。その状況の中で自分の思いを整理したり、やりたいと提案できなかったりする場合もあった。そのような状況を踏まえ、園長や副園長、全体リーダーが協力しながら園内研修にてSTEAM保育(+スポーツ)をテーマに一緒に考え、子どもたちに提案し一緒に取り組んだり、職員の前で取り組み内容とその結果を伝えたりする機会を作った。	保育の質の向上の為に当社の保育理念【未来(あす)を生きる力を培う】、保育目標【よく笑いよく食べよく遊びができる子】【どんな事にも挑戦し自分で考え自分を表現できる子】【まわりの人のことを考え思いやりのある子】について保育理念・園目標に近づけていく為に、子どもとの関わりや普段の保育内容にどのような課題があるか、園内研修を通して職員全員で考え実践を行っていく。	園では定期的な園内研修等を通じて、園が目指す保育の方向性について職員間で話し合いを行う機会を設けています。また、園内の問題については、職員が課題について話し合い、共有しています。今後とも、保育の質の向上のための取り組みを応援していきたい。